

TAY TWO



2011年4月18日

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2011年2月期 決算説明会資料



<http://www.tay2.co.jp>

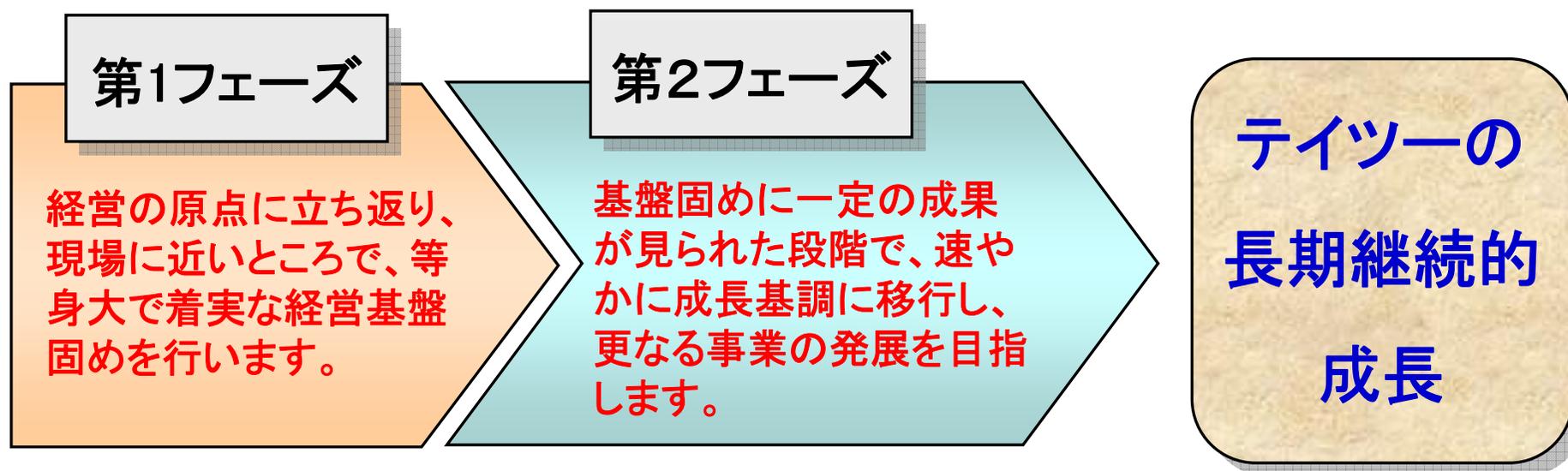
TAY TWO

組織体制の刷新について

組織体制の刷新について(1)

○ 経営体制の刷新

厳しい経済環境の下、急激に変化をしている市場環境を見据えて、今般、株式会社テイツーは、創業直後から長年にわたって古本市場事業に携わり組織を率いてきた取締役副社長の堀久志が、新たに代表取締役社長に就任いたします。
(2011年5月25日開催の株主総会及び取締役会後を予定)

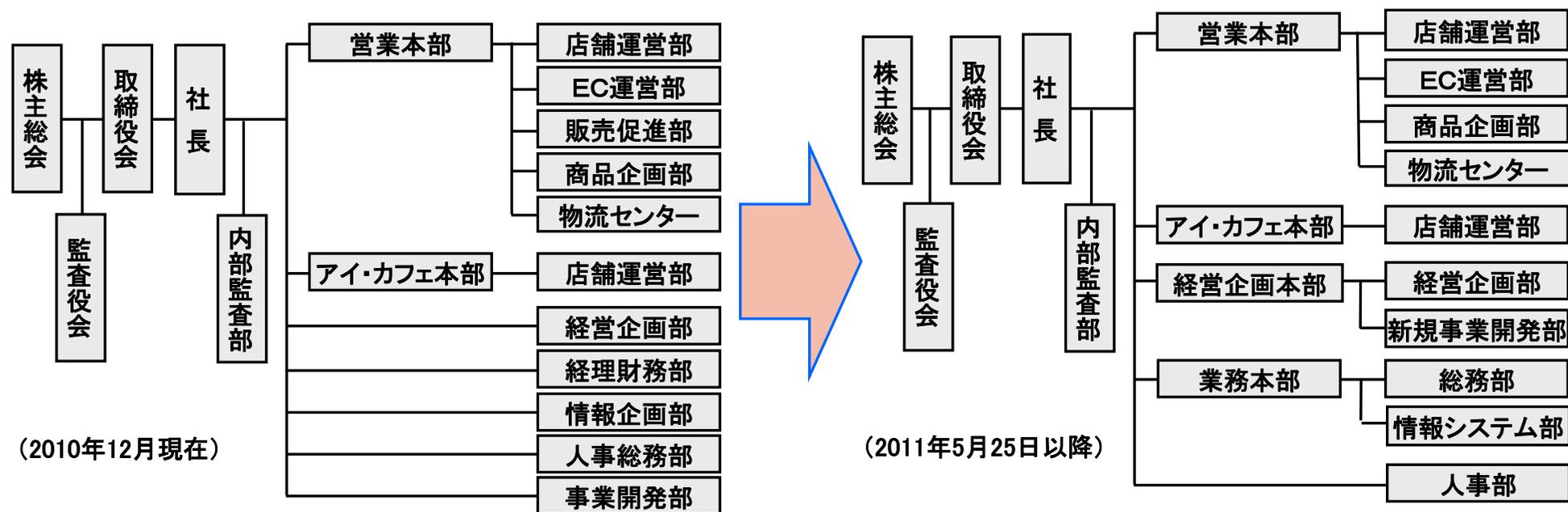


組織体制の刷新について(2)

○ 組織改革の実施

当面の経営課題を実行するために、4月15日付で発表いたしました『組織変更と人事異動のお知らせ』のとおり、組織改革を実施いたします。

(以下組織図の新旧比較)



※詳しい内容は、平成23年4月15日発表の「組織変更と人事異動に関するお知らせ」をご参照ください。

TAY TAY TWO

2011年2月期 決算説明

2011年2月期 連結業績サマリー

【比較損益計算書:連結】

単位:百万円	2010年2月期	2011年2月期	増減	
			増減額	増減率
売上高	41,760	39,689	△2,070	△5.0%
売上原価	31,169	29,500	△1,669	△5.4%
売上原価率	74.6%	74.3%		
売上総利益	10,591	10,189	△401	△3.8%
売上総利益率	25.4%	25.7%		
販売費及び一般管理費	9,384	9,296	△87	△0.9%
販管費比率	22.5%	23.4%		
営業利益	1,206	892	△313	△26.0%
営業利益率	2.9%	2.2%		
経常利益	1,124	870	△254	△22.6%
経常利益率	2.7%	2.2%		
当期純利益	741	387	△353	△47.7%
当期純利益率	1.8%	1.0%		
1株当たり当期純利益	1,450円	748円		
1株当たり年間配当金	300円	260円		

2011年2月期 単体業績サマリー

【比較損益計算書:単体】

単位:百万円	2010年2月期	2011年2月期	増減	
			増減額	増減率
売上高	39,781	38,897	△883	△2.2%
売上原価	29,713	28,933	△779	△2.6%
売上原価率	74.7%	74.4%		
売上総利益	10,068	9,963	△104	△1.0%
売上総利益率	25.3%	25.6%		
販売費及び一般管理費	8,890	9,069	179	2.0%
販管費比率	22.3%	23.3%		
営業利益	1,178	894	△284	△24.1%
営業利益率	3.0%	2.3%		
経常利益	1,109	878	△230	△20.8%
経常利益率	2.8%	2.3%		
当期純利益	712	391	△320	△45.1%
当期純利益率	1.8%	1.0%		
1株当たり当期純利益	1,393円	755円		

2011年2月期 事業セグメント別業績

■事業セグメント別 売上高

(百万円)

	2010年2月期 通期(09/3~10/2)		2011年2月期 通期(10/3~11/2)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
連結売上高	41,760	100.0%	39,689	100.0%	△ 5.0%
古本市場事業	38,699	92.7%	36,661	92.4%	△ 5.3%
アイ・カフェ事業	2,675	6.4%	2,534	6.4%	△ 5.3%
EC事業	460	1.1%	557	1.4%	21.0%
消去又は全社	△ 74	△ 0.2%	△ 63	△ 0.2%	—

■事業セグメント別 営業利益

(百万円)

	2010年2月期 通期(09/3~10/2)		2011年2月期 通期(10/3~11/2)		増減率
	金額	営業利益率	金額	営業利益率	
連結営業利益	1,206	2.9%	892	2.2%	△ 26.0%
古本市場事業	2,160	5.6%	1,786	4.9%	△ 17.3%
アイ・カフェ事業	35	1.3%	62	2.5%	78.8%
EC事業	△ 28	△ 6.1%	41	7.4%	黒字転換
消去又は全社	△ 961	—	△ 997	—	—

2011年2月期の状況

○ 売上高の状況

個人消費の冷え込みなどの影響を受け、前期比で減収

- リサイクル商品の伸び悩み。
- 関東地区の古本市場新店の不振。

○ 営業利益・経常利益の状況

販管費の抑制に努めたものの、売上高の減少や新規出店費用等により、減益

- 古本市場事業においては、減収に加え出店費用の発生等により、減益。
- アイ・カフェ事業、EC事業においては、合併効果や経費圧縮等により、黒字確保。

○ 当期純利益の状況

特別損失、前期の特殊要因等により減益

- 古本市場店舗及びアイ・カフェ店舗について97百万円の減損損失を計上。
- 前期にあった合併に伴う繰越欠損金の効果および税効果会計等の影響の反動等による減益。

2011年2月期 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2010/2末		2011/2末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	5,780	51.0%	6,149	54.3%	368
現預金	1,099	9.7%	1,576	13.9%	476
売掛金	345	3.0%	420	3.7%	74
商品	3,660	32.3%	3,506	30.0%	△154
繰延税金資産	237	2.1%	217	1.9%	△19
その他	437	3.9%	428	3.8%	△8
固定資産	5,554	49.0%	5,174	45.7%	△380
有形固定資産	2,222	19.6%	1,897	16.8%	△324
建物及び構築物(純額)	1,191	10.5%	1,064	9.4%	△126
その他(純額)	1,030	9.1%	833	7.4%	△197
無形固定資産	340	3.0%	278	2.4%	△61
投資その他の資産	2,991	26.4%	2,997	26.5%	5
差入保証金	1,551	13.7%	1,598	14.1%	46
その他	1,439	12.7%	1,399	12.4%	△40
総資産	11,335	100.0%	11,323	100.0%	△11

(単位:百万円)	2010/2末		2011/2末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,016	53.1%	5,788	51.1%	△227
流動負債	3,966	35.0%	3,627	32.0%	△339
買掛金	995	8.8%	1,480	13.1%	485
短期借入金	600	5.3%	0	0.0%	△600
1年内長期借入金	867	7.6%	725	6.4%	△142
その他	1,502	13.3%	1,420	12.5%	△82
固定負債	2,050	18.1%	2,161	19.1%	111
長期借入金	1,189	10.5%	1,353	12.0%	164
その他	860	7.6%	807	7.1%	△52
純資産	5,318	46.9%	5,534	48.9%	215
株主資本	5,209	46.0%	5,426	47.9%	217
評価換算差額等	0	0.0%	△1	△0.0%	△1
新株予約権	27	0.2%	28	0.2%	0
少数株主持分	81	0.7%	80	0.7%	△0
負債純資産合計	11,335	100.0%	11,323	100.0%	△11

2011年2月期 連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円)	
	2010/2期 09/3~10/2	2011/2期 10/3~11/2
営業キャッシュ・フロー	1,461	1,790
投資キャッシュ・フロー	△325	△340
財務キャッシュ・フロー	△1,428	△973
現金及び現金同等物の増減額	△291	476
現金及び現金同等物	1,016	1,492

	(百万円)	
	2010/2期	2011/2期
税引前当期純利益	622	738
減価償却費	672	610
たな卸資産増減額	179	171
仕入債務増減額	△139	485
その他	383	79
小計	1,719	2,084
法人税支払等	△257	△294
営業CF計	1,461	1,790

○営業キャッシュフロー

- たな卸資産の圧縮、仕入債務の増加により増加

○投資キャッシュフロー

- 新規出店、システム投資の影響で支出

○財務キャッシュフロー

- 長期借入を実施した一方で、短期借入金・長期借入金の返済等により支出減少

TAY TAY TWO

今後の方針

並びに

2012年2月期 業績予想

今後の方針

長期継続的成長を実現するため、成長戦略の3つの方向性を明確化。

長期継続的成長の実現

新規事業・新規市場の創出

既存事業とのシナジー追求と、成長市場の発掘・事業化

中核事業の再構築

商材別・店舗別管理レベル向上、出店戦略の見直し、EC事業の拡大

人財育成と生産性の向上

店舗スタッフの適正な配置等による生産性の向上、本部スタッフの機能強化

カルチュア・コンビニエンス・クラブとの業務提携

TAY TWO

株式会社ティーツー

- 古本市場事業
- 古本市場 online事業
- アイ・カフェ事業

他

業務提携

経営ノウハウの共有
新たなビジネスモデルの創出
双方の更なる成長及び発展

CCC

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

- TSUTAYA事業
- TSUTAYA online事業
- Tポイントカード事業

他

基本合意の内容

○ 両社直営店舗及びFC加盟店舗で取り扱うエンタテインメント商材の相互供給の検討

○ 両社の店舗パッケージ及び商圈の強化を目的としたマルチパッケージ×マルチユース化推進の検討

カルチャア・コンビニエンス・クラブとの業務提携の進捗状況

○ 両社直営店舗及びFC加盟店舗
で取り扱うエンタテインメント商材の
相互供給の検討

○ 両社の店舗パッケージ及び商圈の
強化を目的としたマルチパッケージ×
マルチユース化推進の検討

CCC社と協議中

当社一部店舗における
TSUTAYA化

CCC社への古本の供給等

2012年2月業績予想 — 1.通期業績予想 —

■通期業績予想

	2011年2月期 実績		2012年2月期 計画		前期比	
					増減額	増減率
売上高	38,897	100%	39,000	100%	103	0.3%
営業利益	894	2.3%	870	2.2%	△24	△2.7%
経常利益	878	2.3%	830	2.1%	△48	△5.5%
当期純利益	391	1.0%	200	0.5%	△191	△48.9%
EPS	755円		386円			

※連結子会社であるインターピア株式会社が2011年3月から連結の範囲から除外されることとなったため、2012年2月期の業績予想は個別業績予想となります。

※当期純利益の予想は、会計基準の変更による資産除去債務337百万円を特別損失に計上することを考慮しております。

※3月11日に発生した東日本大震災による直接的な損害は軽微であります。今後予想される電力供給の制約等を含む社会インフラの不確定な状況および消費動向の変化が当社の業績に与える影響は現時点で不明です。当社の業績への影響が明らかになる場合は速やかに開示いたします。

2012年2月業績見通し —2.事業セグメント別情報—

■事業セグメント別売上高

(百万円)

	2011年2月期 参考値	2012年2月期 計 画	増減率
売上高	38,897	39,000	0.3%
マルチパッケージ販売事業	36,652	37,000	0.9%
その他	2,245	2,000	△10.9%

■事業セグメント別営業利益

(百万円)

	2011年2月期 参考値		2012年2月期 計 画		増減率
営業利益	894	2.3%	870	2.2%	△2.7%
マルチパッケージ販売事業	1,995	5.4%	1,950	5.3%	△2.3%
その他	52	2.3%	20	1.0%	△61.9%
消去又は全社	△1,153	—	△1,100	—	—

※「マルチパッケージ販売事業」は、古本、テレビゲーム、CD、DVD等の販売・買取及びレンタル業務を行う事業
(古本市場、ブックスクウェア、古本市場オンライン等)

※「その他」は、インターネット・コミック・カフェの運用その他を行う事業(アイ・カフェ、Family Mart等)

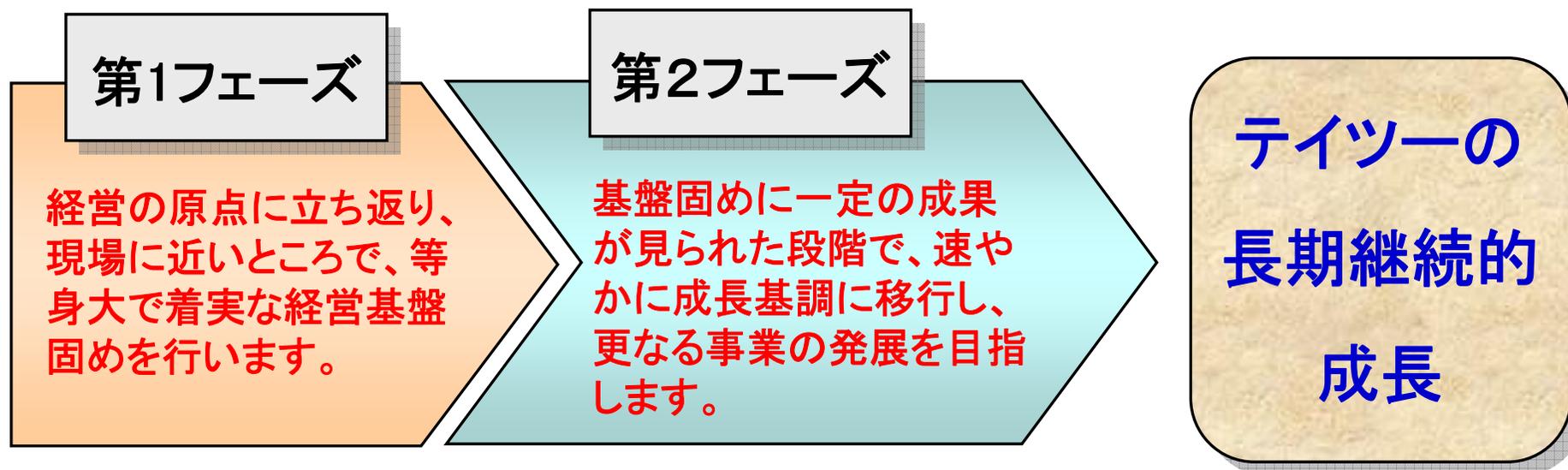
2012年2月期の基本スタンス

次の成長への投資・費用等による若干の減益を計画

新規出店効果を考慮するものの、個人消費の低迷が続く中、保守的に売上を見込む。

震災による営業中止及び営業時間短縮化の影響、全般的な消費マインドの冷え込みの影響を考慮。

中期的な経営効率向上を目指した足元の投資・費用の発生等により、前期より若干の減益を予想。



利益配分に関する基本方針

基本方針

① 業績に応じた配当の実施(配当性向25%以上)

② 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

※特別な損益等の特殊要因により、税引後当期純利益が大きく変動する場合には、その影響を考慮した配当を実施

配当性向の実績と計画

	第17期(実績) 2006/3-2007/2	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(実績) 2010/3-2011/2	第22期(予想) 2011/3-2012/2
当期純利益	198百万円	634百万円	138百万円	741百万円	387百万円	200百万円
配当金	112百万円	131百万円	130百万円	153百万円	134百万円	未定
配当性向	56.7%	20.8%	94.7%	20.7%	34.7%	未定

※21期までは連結当期純利益および連結配当性向

※夏場の電力供給の制約を含むインフラの不安定及び消費マインドへの変化の影響など 東日本大震災の経済活動に与える影響は現時点では予測が難しく、業績予想には完全には織り込んでいないため、次期の配当につきましては現時点で未定とさせていただきます。確定次第、速やかに公表いたします。



TAY TWO

參考資料

会社概要

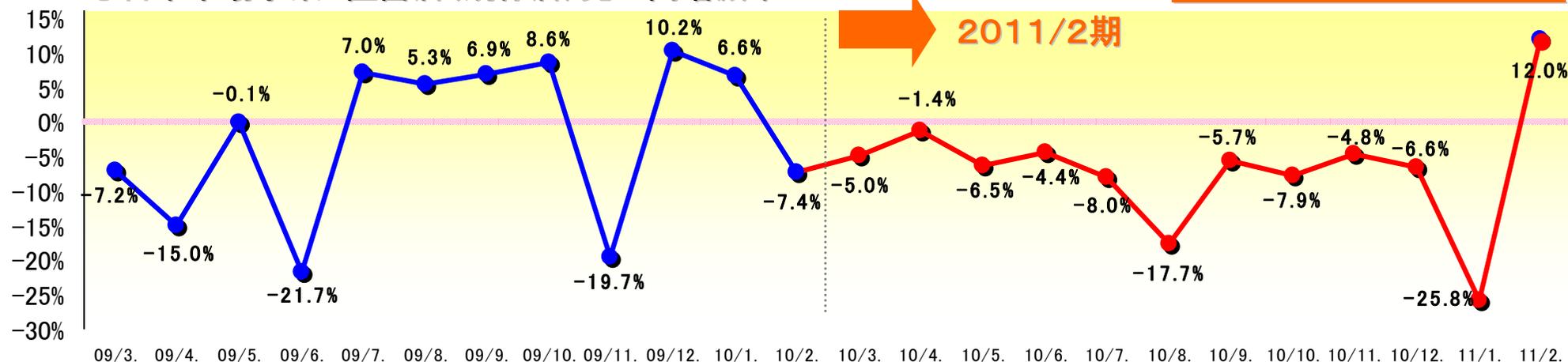
社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルA館8F
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取 及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト「古本市場online」の運営
従業員数	正社員 450人、パート・アルバイト 1,695人 計 2,145人(2011年2月末現在)
資本金	1,165百万円(2011年2月末現在)
発行済株式数	551,400株：単元株制度なし(2011年2月末現在)
株主数	5,923名(2011年2月末現在)

〔ご参考〕 古本市場事業 既存店の状況

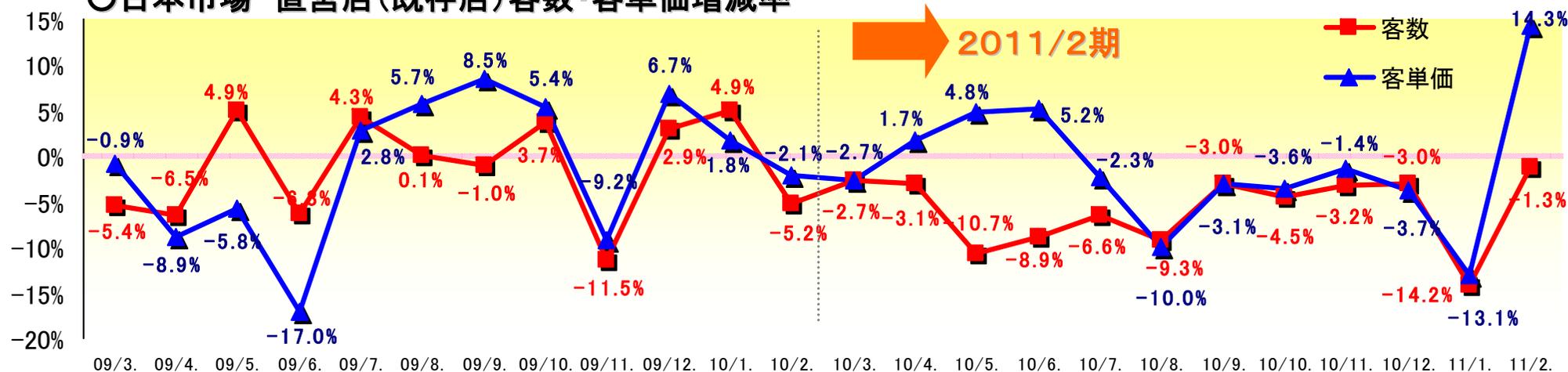
個人消費低迷、リサイクル品の伸び悩み等により既存店売上等は前期比で減少

○古本市場事業 直営店(既存店)売上高増減率

2011/2期 累計 Δ 8.0%

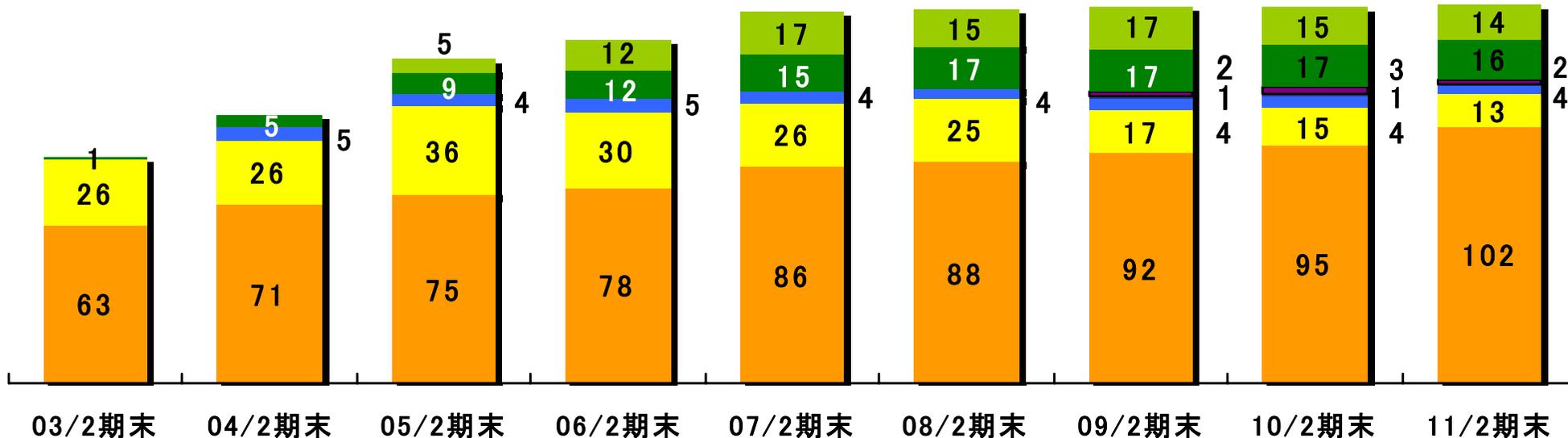


○古本市場 直営店(既存店)客数・客単価増減率



〔ご参考〕 2011年2月期 店舗の状況

■ 古本市場 直営店
 ■ 古本市場業務提携・FC店
 ■ ブック・スクウェア直営店
 ■ DonDon Down
■ Family Mart
 ■ アイ・カフェ直営店
 ■ アイ・カフェFC店



	2010/2期	2011/2期			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場事業	118	7	△ 4	121	+3
古本市場直営店	95	※ 7	0	102	+7
古本市場業務提携・FC店	15	0	※ △ 2	13	△ 2
ブック・スクウェア直営店	4	0	0	4	0
Don Don Down on Wednesday	1	0	△ 1	0	△ 1
Family Mart	3	0	△ 1	2	△ 1
アイ・カフェ事業	32	0	△ 2	30	△ 2
アイ・カフェ直営店	17	0	△ 1	16	△ 1
アイ・カフェFC店	15	0	△ 1	14	△ 1
合計	150	+ 7	△ 6	151	+1

※直営店の出店4店舗の内、2店舗はFC店の直営化によるものです。

Mission

■経営理念

「満足を創る」

■スローガン

Customer Value Creation ～顧客価値の創造～

■行動指針

ティツーの七感

-  変化を観る「目」をもつ
-  お客様の声を聴く「耳」をもつ
-  親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
-  自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
-  常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
-  お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
-  お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

Customer Value Creation

～顧客価値の創造～

本資料は、2011年2月期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2011年4月18日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口 : 経営企画部 関本、徐(そう)
TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501
E-mail: ir@tay2.co.jp